

# 「ふえぶき通信」障害者地域活動支援センター

レポート by 奈緒

## 「障がい者にとって利用しやすい交通手段とは？」

視覚障がいがあるAさんと一緒に、笛吹市のデマンドタクシーに体験乗車しました。今までAさんも私も利用したことがありません。乗車して便利であれば、今後は利用できるといいなと思いました。

1 支援センターから最寄りの停留所まで一緒に歩いて行きました。道幅も狭く交通量も多いため、何度も立ち止まりながら進みました。



2 停留所に到着です。停留所の看板の形を触って確認します。



3 高さのデマンドタクシーの到着です。車高が高く、Aさんは自力で乗ることができません。



4 2人がかりの介助でちと乗ることができました。



5 降車場所の近くのスーパーマーケットに降りて欲しい、とお願いして買い物をしました。



6 もう少しで到着しますが、停留所のアナウンスがありません。Aさんは視覚障がいであるため、耳からの情報が頼りです。アナウンスがないので、降車の準備や心構えをするのができません。



奈緒と慶レポート

7 スーパーマーケットに到着しました。乗車をしたので乗降口の形状は把握しています。乗車時よりスムーズに降りることができました。しかし車高が高いため、お尻をつきながら降りました。

Q 初めて乗ってみた感想を教えてください。

Aさん  
車高が高くて乗り降りが大変で、ひとりじゃ乗れないね。停留所のアナウンスが無いので、案内があれば助かるな。

Q 今後利用してみたいですか？

Aさん  
声かけとか案内があれば利用したい。

初めてデマンドタクシーに乗って、気付いたことはたくさんありました。踏み台の設置や、声かけをしてもいいですね、とても助かる人がいます。ちよとした配慮で障がい者だけでなく、高齢者や子どもにも利用しやすいデマンドタクシーにしたいのではないかと感じました。

### 「デマンドタクシーとは…」

笛吹市の予約制乗合タクシーです。事前に乗車する停留所と時間を予約し、予約した人同士が乗りあう公共の交通のことです。事前に利用者登録と利用の電話予約が必要となります。ふじみルートとみさかルートがあり、1回2000円乗車できます。

レポート by 慶

## 「放課後等デイサービスを見学しました！」

皆さんは、放課後等デイサービスをご存知ですか？ 家族が増えている今、親が働いている子どもは、学校が終わったあと、放課後児童クラブ(学童保育)に行っています。一方で、障がいのある子どもたちのほとんどは、放課後の活動として、放課後児童クラブではなく放課後等デイサービスを利用しています。



子どもに障がいがあっても、仕事をしたい… 専門の職員さんがいるところに安心して子どもを預けたい…



障がいのある子どもの放課後の居場所として、放課後等デイサービスがあります。今、放課後等デイサービスの需要が高まって、事業所がどんどん増えています。それと同時に、放課後等デイサービスのあり方についての関心も高まっています。

### 『放課後等デイサービスを実際に見学してみたい！』

そんなお母さんたちの意見から、笛吹市自立支援協議会で、お母さんたちと一緒に4箇所の事業所を見学してきました！

4箇所の事業所は、雰囲気や特徴も様々でした。子どもの個々の特性を引き上げるために活動している事業所もあれば、集団での活動を主として特に協調性を大切にしている事業所もあり、事業所ごとに、活動や大切にしている想いが異なるということが分かりました。

安心して子どもを預けるためには、実際に事業所に足を運び、設備や通っている子どもたちの様子を見て、職員と話をして、子どもの障がいの特性や、家族の希望に沿った事業所を選ぶことが大切だと改めて感じました。

そして、4箇所の事業所に行き、色々な質問をしているお母さんたちの姿を見て、家族の力の大きさを感じました。私も、支援者として良い働き役に変わるように、色々な事業所に足を運びたいと思います。